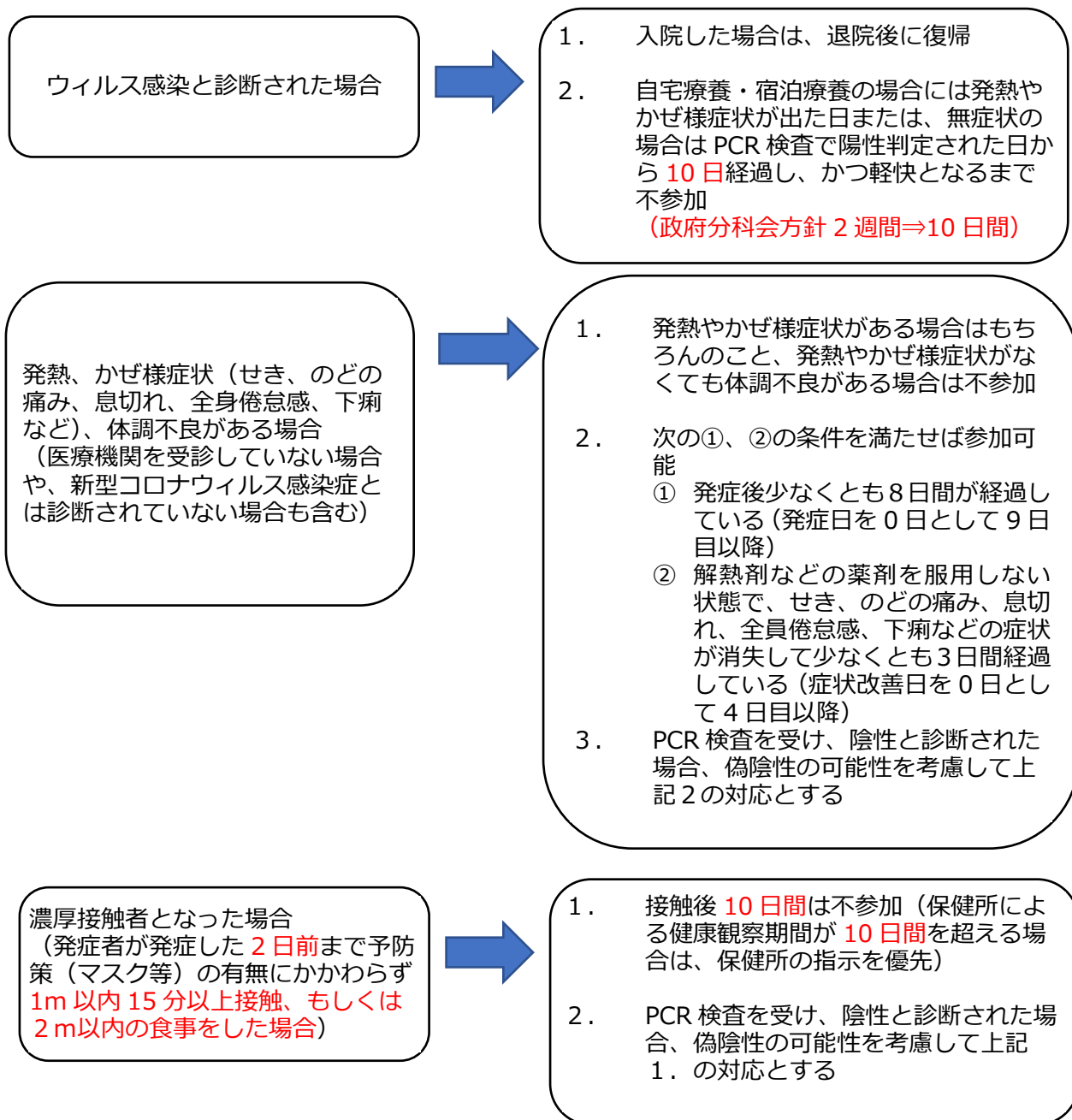


新型コロナウイルス COVID-19 感染拡大防止対応フローについて(改訂 2022-01)

表題の件、コーチ、選手、およびその関係者が罹患もしくは接触者となった場合の行動指針について以下のフローにまとめました。

一読のうえ、遵守いただきますようご協力の程、お願い申し上げます。

フロー 1 : 本人が下記事象に該当した場合



フロー2：同居家族が下記事象に該当した場合

同居する家族がウィルス感染と診断された場合



- 1 フロー1の「濃厚接触者となった場合」と同じ対応

同居する家族に発熱、かぜ様症状（せき、のどの痛み、息切れ、全身倦怠感、下痢など）、体調不良がある場合
（医療機関を受診していない場合や、新型コロナウイルス感染症とは診断されていない場合も含む）



- 1 同居する家族が医療機関を受診の結果、明らかにコロナの影響ではない（PCR 陰性を含む）と診断され、かつ同居する家族の体調不良が回復している場合で、選手本人の健康状態に異常がなければ参加可能。）
- 2 医療機関の受診を行わない場合、家族の発症後 10 日経過以降の参加可とする

同居する家族に発熱、かぜ様症状（せき、のどの痛み、息切れ、全身倦怠感、下痢など）、が無くても、体調不良がある場合



- 1 コーチや選手本人の健康状態に問題が無ければ参加可能

同居する家族が濃厚接触者となった場合
（発症者が発症した 2 日前まで予防策（マスク等）の有無にかかわらず 1m 以内 15 分以上接触、もしくは 2 m 以内の食事をした場合）



- 1 同居する家族が保健所による健康観察を受けている期間は、不参加
- 2 PCR 検査を受け、陰性と診断された場合でも、偽陰性の可能性を考慮して 10 日間不参加